

審　査　決　定　報　告　書

決算特別委員会

令和6年第3回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました認定第1号（令和5年度水戸市一般会計及び特別会計決算認定について）の審査の経過並びに結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

当委員会は、第1回委員会を9月2日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長を鈴木宣子、副委員長をマーサー川又委員に決定しました。

続いて、9月17、18、19日にそれぞれ委員会を開催し、提出された決算書及び審査資料を中心に、種々質疑応答を行うなど、その内容について慎重に審査を行った後、採決の結果、認定第1号は、賛成多数をもって、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の審査を通じ、今後の市政運営上留意すべき事項として各委員から出された主な意見は、次のとおりあります。

審　査　意　見

1 一般会計について

(1) 歳入について

ア 市民負担の公平性の視点から、市税や住宅使用料等に係る収納対策を強化し、不納欠損額の縮減を図られたい。あわせて、きめ細かな納付相談を行うなど、滞納者の状況に応じた丁寧な対応に努められたい。

(2) 歳出について

ア 市民が安心できる健全な財政運営により一層努め、経常収支比率等の各種財政指標の改善を図られたい。

イ 多額の不用額が生じている事業については、その要因を検証し、社会経済情勢や地方財政計画等を十分に踏まえた上で、次年度予算への適切な反映に努めるとともに、予算の効率的かつ計画的な執行に取り組まれたい。

ウ まちなかシェアサイクル事業については、自転車やサイクルステーションのより効率的な管理運営に努めるとともに、まちなか案内パンフレットを活用した周知に取り組むなど、さらなる利用促進を図られたい。

エ 指定避難所等における災害備蓄物資の計画的な更新・配備を行うなど、引き続き市民の安全を確保する防災・減災対策に万全を期されたい。

オ 障害者相談支援体制については、オンライン相談の導入など、デジタル化を推進し、より相談しやすい体制づくりに努められたい。

- カ 放課後学級や民間学童クラブについては、待機児童ゼロの継続に努めるとともに、施設運営の充実や児童数に応じた利用環境の向上を図られたい。
- キ こども・子育て支援は、本市の最重要政策であることから、各種施策の周知を徹底し、伴走型相談支援等のさらなる充実を図り、引き続き、妊娠期から出産後まで切れ目のない支援に取り組まれたい。
- ク 不妊治療に対する補助は、少子化対策の観点からも大変重要であることから、制度の丁寧な周知を行うなど、きめ細かな事業推進に努められたい。
- ケ 子育てまちなか住宅取得支援事業については、本市への移住促進やまちなかの活性化につながるよう、希望者のニーズの把握に努め、利用件数のさらなる拡大を図られたい。
- コ 学校部活動における地域移行コーディネーターの効果的な活用を図り、部活動の地域移行を推進することにより、教職員の負担軽減に努められたい。

2 特別会計について

(1) 歳入について

- ア 駐車場事業会計については、五軒町立体駐車場のさらなる周知に注力するなど、当該駐車場の利用促進を図り、収入の確保に努められたい。

上記のとおり報告する。

令和6年9月24日

水戸市議会議長 大津亮一様

決算特別委員会
委員長 鈴木宣子